

(28) なす
(ア) 病害

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
半身萎凋病 7月上旬～9 月上旬	物理的防除 1. 糖蜜を用いた還元消毒（下層土までの還元消毒） （1）糖蜜を水に溶解しやすいよう2倍に希釈する。 （2）液肥混入器を用いて0.6%（w/w）の濃度に正確に調整し、土壌 全面に均一に150mmかん水する。 （3）透明フィルムで表面を密着被覆する。 （4）ハウス密閉期間は20日間とする。 （5）処理時期は、7月上旬～9月上旬とする。 （6）下層土に水を浸透させにくい土層があると、効果が不完全になる 場合がある。
は種又は定植 21日前	薬剤防除 1. 土壌混和
うどんこ病	薬剤防除 1. 茎葉散布

(イ) 害虫

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
アブラムシ類 育苗期後半 定植時 6月上旬～	薬剤防除 1. 株元散布 2. 植穴土壌混和 3. 茎葉散布
ハダニ類 7月中旬～	薬剤防除 1. 茎葉散布 （1）同一薬剤の連用を避ける。 （2）多発してからでは防除が困難なため、発生状況に注意して少発生 条件下で防除を開始する。
オンシツコナ ジラミ 発生期	薬剤防除 1. 茎葉散布
ミカンキイロ アザミウマ	耕種的及び物理的防除 1. 寄生した作物をほ場内へ持ち込まない。 2. 寄生し易い部分（下位葉と花）に注意して早期発見に努める。 3. ハウス栽培では冬期間の被覆除去により越冬阻止が可能である。

病害虫名及び 防除時期	防除方法及び注意事項
発生初期～	薬剤防除 1. 茎葉散布

(ウ) クリーン農業技術（病害虫防除関係分）（なす）

○耕種的防除

- ・ミカンキイロアザミウマ対策として、寄生した苗・植物を持ち込まない。
- ・半身萎凋病に対する抵抗性台木の導入

○物理的防除

- ・半身萎凋病対策として糖蜜を用いた還元消毒法（ハウス）

※注釈

●ミカンキイロアザミウマ対策

寄生苗等の持ち込みに注意し、早期発見と化学的防除により密度抑制し、冬期間のビニール除去による越冬阻止により総合的に防除を行う。冬期間の被覆ビニール除去が越冬を阻止する確実な方法であるが、側窓を開放し-10℃以下で 168 時間以上を確保できれば越冬を阻止できる。

●糖蜜を用いた土壌還元消毒法（ハウス）

0.6%の糖蜜溶液を土壌に灌注し（150mm の水量）、深い土層まで浸透させる。その後、地表面を透明なフィルムで覆い、ハウスを密閉させる。この状態を 10～20 日維持することで土壌中の半身萎凋病菌を死滅させる。処理の有効性は、強いドブ臭で確認する。